

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立大宮武蔵野高等学校 )

目指す学校像	1 高い目標を持ち、自らの夢を実現できる生徒の育成 2 社会で活躍できる生徒を育て、地域が誇れる学校
--------	---

重点目標	1 生徒一人ひとりの学力の向上を目指した授業改善の取組 2 第一志望実現に向けた系統的な進路指導の確立 3 基本的生活習慣の確立とマナーアップ、生徒の自主的活動の一層の充実 4 地域に信頼され、地域に貢献できる生徒の育成
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

年度		学 校 自 己 評 価			年度評価(1月16日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイム着席は概ね定着してきた。</li> <li>・基礎的・基本的な学力が定着していない生徒がいる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心を高め、学習の楽しさに気付かせる「分かる授業」を実践していく必要がある。</li> </ul>	分かる授業による生徒の学習意欲の向上	<p>①授業公開週間を活用し、授業の取組について意見交換を行う。</p> <p>②生徒対象アンケートを実施して学習状況を把握し、LHR、三者面談で指導する。</p> <p>③各種検定や英語合宿等に積極的参加させ学習意欲を高めるとともに、各種補習や検定試験の充実にもむけた支援を行う。</p>	<p>①各教科で授業改善に係る取組状況。</p> <p>②生徒の学習習慣の状況や定着度。</p> <p>③各種補習授業や検定試験等の取組状況と成果。</p>	<p>○学習意欲の向上については、今後も教科間の連携による継続的な取組が課題。</p> <p>①相互授業見学により授業改善に向けての動きが見られた。また新しい手法による授業展開も増えている。</p> <p>②授業を通して基礎学力が向上したと感じている生徒が72%。学習時間については上向きにはならず、成績不振者は増加している。</p> <p>③夏季英語研修の参加数の増加。各種検定試験受験者が増加(延べ85人以上)した。試験前補習の実施により、不振者への支援を行った教科も多かった。</p>	B	<p>①教科会で授業に関する意見交換を行い、相互に学び合う風を醸成する。</p> <p>②基礎的・基本的事項を定着させ、学習習慣を身に付けさせるために課題を提示するなど、各教科の組織的な取組が必要である。</p> <p>③基礎補習や勉強会の実施が基礎学力の向上に結び付いているので、補習授業等における教科内の連携を深める。</p>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約83%が進学、約11%が就職で、進路未定者は約6%である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望の実現に向け、将来の展望を持って、受け身でなく主体的に進路活動にじっくり取り組ませる。</li> </ul>	系統的、組織的な進路指導・キャリア教育の取組	<p>①進路面談、三者面談を通して目標実現のための具体的な行動を促す。</p> <p>②進路資料室、「進路のしおり」を積極的に活用し、進路意識を高める。</p> <p>③3年間を見通した進路ガイダンス・講演会を計画的に実施する。</p>	<p>①生徒の進路実現状況。</p> <p>②生徒の主体的な情報収集状況や進路室活用状況。</p> <p>③生徒の進路意識の変容や取組状況。</p>	<p>○学年と進路指導部が情報交換等連携し、進学・就職希望者ともに適切な進路指導を行うことができた。</p> <p>①3年の進学希望者が88%と増加し、志望校決定と並行して奨学金制度の啓蒙を行った。就職希望者は11名全員が内定、一人ひとりの進路希望を実現できた。</p> <p>②進学希望者の志望動機、小論文、面接指導を充実させ志望校や専攻について研究させた。また就職者にはアドバイザーと連携し、模擬面接の回数を増やした。</p> <p>③1・2年とも学期ごとのガイダンス等を実施し、各自が進路意識を高めることができた。</p>	A	<p>①進学希望者には、経済的状況を把握し奨学金制度の啓蒙に今後も務める。</p> <p>②生徒の進路希望の実現に向け、今後もより多くの情報を収集させ、主体的に取り組ませる。</p> <p>③今後も基本的生活習慣の確立と学習指導・特別活動など、学校生活の充実が進路に直結することを意識させることが不可欠である。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な交通指導により、登下校中の事故は減少した。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のルールやマナーを意識した態度や行動を身に付けさせる。</li> </ul>	基本的生活習慣のさらなる確立  規範意識のさらなる向上とマナーアップ	<p>①日頃の挨拶、言葉遣い、マナーに対する組織的な指導を行う。</p> <p>②毎月の遅刻指導と定期的な頭髪服装指導を徹底する。</p> <p>③自動二輪車免許取得やアルバイト許可制の共通理解を図り、指導を徹底する。</p>	<p>①各取組の実施状況。</p> <p>②遅刻指導・頭髪服装指導対象者数の状況。</p> <p>③自動二輪車免許取得やアルバイト許可制の取組状況。</p>	<p>○SNSトラブルの増加に伴い、思いやりの心を持ち相手や状況によってコミュニケーションを適切に選ぶことを理解させ、指導していくことが課題である。</p> <p>①本校生徒の学校以外の場でのマナー意識67%。登下校時や電車内のマナーについて苦情が数件あった。</p> <p>②遅刻指導は成果が出ている学年あり。頭髪指導は、進路指導につながる会話や細かな指導の結果、減少。</p> <p>③二輪車免許取得者に対し安全講習会に参加させるなど安全教育に関する指導を徹底した。</p>	B	<p>①苦情等については、教員間の連絡報告をもとに、生徒に対する指導を今後も徹底する。</p> <p>②学校以外の場でも、本校生としての意識をもって行動できるよう、規範意識の向上を促す。</p> <p>③交通事故加害者を出すことなく事故防止のための指導を今後も徹底する。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が積極的に委員会活動に参加するようになった。</li> <li>・分校との交流が深まっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の加入率を高め、継続した活動を推進する。</li> <li>・生徒全体の学校行事への積極的な参加を促す。</li> </ul>	生徒の自主的活動のさらなる充実	<p>①部活動推進委員会と特別活動部の連携を強化する。</p> <p>②委員会の活性化、生徒会本部役員への支援を行い、生徒会行事への積極的な参加を促進する。</p> <p>③さいたま西分校の生徒会や委員会との連携を深め、交流行事の充実を図る。</p>	<p>①部活動の継続状況。部活動体験会実施状況。</p> <p>②委員会の果たした役割、活動状況及び行事实施状況。</p> <p>③さいたま西分校との交流状況及びその成果。</p>	<p>○部活動加入率の増加や学校行事の充実度を上げることが課題。</p> <p>①部活動加入率は年度当初72.9%→62.7%(11月)。部活動体験会の参加者数は約120人と増加。</p> <p>②学校説明会では生徒会本部役員が運営に積極的に関わった。また、各種委員会活動も充実しつつある。生徒が学校行事へ積極的に参加している割合84%。</p> <p>③さいたま西分校との交流状況は計画どおり実施。文化祭のアーチ作成など生徒会同士の交流も深まった。</p>	B	<p>①部活動オリエンテーションで各部活動の魅力や伝えられるよう工夫する。</p> <p>②生徒が主体的に委員会活動に参加できるよう。</p> <p>③今後も分校連絡協議会を定期的に開催し、多くの行事においてさらに交流が深められるようにする。</p>
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HP等の情報発信や地域との交流を継続的に実施している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や中学生へ本校の学校行事や部活動の情報発信を一層進めて信頼を高め、生徒募集に繋げる。</li> </ul>	学校行事や部活動の情報発信のさらなる充実	<p>①HPの更新等による情報発信を積極的に行う。</p> <p>②学校説明会・中学校訪問等の内容等を見直し、生徒募集を円滑に行う。</p> <p>③生徒の地域行事参加や交流を継続して行い、地域との連携を深める。</p>	<p>①HPの掲載・更新状況。</p> <p>②学校説明会等参加者数や実施状況。</p> <p>③地域行事や交流の状況、関係者の評価。</p>	<p>○HPの更新や地域交流への参加をとおして、本校の教育活動の情報発信をさらに行っていくことが必要。</p> <p>①HPのリニューアルに伴い、学校行事や部活動情報等を頻繁に更新した。</p> <p>②学校説明会の中学生と保護者の参加数は、延べ約1,000人。PTA向け学校説明会、上級学校訪問を4回実施。</p> <p>③部活動を中心に地域との交流を3回実施。各学年、学年通信を定期的に発行し保護者への発信を行った。</p>	A	<p>①分掌・学年・部活動で分担し、HP更新を通して、情報発信を行う。</p> <p>②今後も管理職と教務部が中心となり学校全体として取り組むことが求められる。</p> <p>③学年通信の定期的発行や三者面談や学年PTAを通じ、情報の共有を保護者や行い、今後も連携を深めていく。</p>

学校関係者評価
実施日 令和2年2月5日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対して意欲的に取り組んでいる姿勢がみられる。学びたいという生徒を今後さらに増やすにはどうするか課題である。</li> <li>・1回～数回の授業で学んだことなどを振り返る機会を授業内に設けると良いのではないかと。</li> <li>・授業公開週間に中学校の教員を呼ぶなどの交流を行うことで、互いの成長につながるのでは。</li> <li>・大学入試が変わるなど、変化のスピードが速くなっている。先を考えて生活を送ることが大切である。大学卒業後を見据えた指導を、これからも続けてもらいたい。</li> <li>・学校選びの判断基準は挨拶ができるかどうか。武蔵野高校は基礎的などころは教育されている。これからも続けてほしい。</li> <li>・今後も進路指導と生活指導を加味しながら指導をしていってほしい。</li> <li>・部活動の加入率低下が気になる。生徒会とも協力して部活動の宣伝ができることよいのではないかと。</li> <li>・中学校の部員数も多くはないので、近隣の子どもたちを集めて、土曜などに高校で一緒にやらせていただく機会を作っていただけるとよい。</li> <li>・地域の祭りなどに出演するだけでなく、運営にも協力してもらえるとありがたい。伝統文化などの継承者としても期待したい。</li> </ul>